

## 霧島ジオパークエリア拡大認定記念の企画展！



上野原縄文の森

### 上野原縄文の森第68回企画展 「人のあゆみとジオストーリー ～南九州の火山と生きた人々～」

上野原縄文の森は霧島ジオパークとパートナーシップ協定を締結し、令和4年9月、日本ジオパークの拡大エリアとして再認定されました。

南九州に生きた人々は、地球規模で活動する火山や地震から大きく影響を受ける一方、シラス台地などの固有の地形を巧みに活用し、生きてきました。また、石や土などの大地の恩恵から材料や道具を作りだし、他の地域と交流を図りながら、文化の構築と融合を繰り返してきました。

今回の企画展は、火山や地形などの地質遺産と発掘された遺構・遺物という考古・歴史遺産との関わりについて紹介し、火山や地震、災害等と共存してきた歴史について学べる機会とします。



#### 【開催期間】

令和5年10月21日(土)～  
令和6年1月8日(月祝)

#### 【開催場所】

上野原縄文の森 展示館  
企画展示室

#### 【料金】

展示館利用料金



春日式土器 御池噴火前の土器  
(上水流遺跡：南さつま市)

### 上野原縄文の森第68回企画展講演会

企画展に関連した火山や地形などの地質遺産と発掘された遺構・遺物という考古・歴史遺産との関わりについて紹介した講演会を開催します。

#### 【開催日時】

11月26日(日) 9:30～12:00

#### 【講師】

大木 公彦氏(鹿児島大学名誉教授)  
演題：「国分平野の成り立ちと噴火史」  
栗畑 光博氏  
(九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者)  
演題：「南九州の火山と先史時代の人々」

#### 【定員】

300人程度

#### 【料金】

資料代100円

#### 【場所】

霧島市国分シビックセンター多目的ホール



御池と高千穂峰